

わたし達も応援しています!



衆議院議員
内閣官房副長官
西村 明宏



村井知事と八島県議から応援を頂いています。



角田市長
大友 喜助

女性の声

昨年の市議会議員選挙の最終日、それはそれは美しい満月の下、最後のさいごに、黒須とおるさんはマイクをにぎりしめガラガラになった声で言いました。「黒須とおるは今日のこの満月のように一点の曇りもありません!」と。そんな言葉を聞いてああ本当にそうだと納得できる人を、私は黒須とおるさんの他に知りません。

市民一人一人が、かくだに生まれてよかった、かくだに育ててよかったと思えるまちづくり、若者がもう一度ふるさとのために頑張ろうと帰ってきてくれるまちづくりを、黒須とおるさんなら必ずできるはずです!

枝野 佐藤

せっかく子どもを育て上げて若者はみんな都市部に行って帰って来なくて淋しい限りです。子育てしやすく、若い人たちも長く住み続けたいと思える魅力的な角田市、安心して暮らせる角田市を作って欲しいです。とおるさんは誠実で、相手の立場に立って考えてくれます。いろんな世代の立場に立って住みよいまちづくりをしてくれると信じます。また相手をホッとさせる明るさがあります。この明るさで角田市民が笑顔になれるよう引っ張って行ってください!

桜 小野



略歴 ^{くろすとおる} 黒須 貫 昭和39年7月22日生まれ
母・妻・子供(1女4男)8人家族

- 宮城県角田高等学校卒業
- 國學院大學法学部卒業
- 鶴岡八幡宮(鎌倉市)で修業の後、熱日高彦神社の神主
- 現在 熱日高彦神社含む4神社宮司
- 社会福祉法人恵萩会 はぐくみ学園理事(元職員)
- 元 角田市PTA連合会会長
- 元 角田市議会議員(4年7ヶ月)
- 現在 角田市消防団 団員
- 現在 とらいゆ〜すMIYAGI 角田市青少年育成推進員

ホームページ <https://cross-over.club>



右記のQRコードからご覧いただけます▶



新型コロナウイルス感染症の
最前線で活躍する医療従事者の
皆さんを応援しています!

黒須とおる 後援会規約(抜粋) 名称:本会は黒須とおる後援会と称し、事務所を角田市に置く。
目的:黒須とおる氏を後援することにより、市政の発展と市民生活の向上を図ることを目的とする。
会員:目的に賛同し、入会申込書を提出した者をもって会員とする。 後援会会長 佐藤 勝征

くろす
黒須とおる

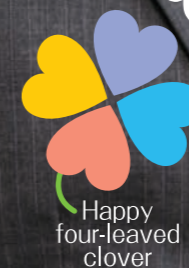
くろす

新時代を

生きさぬく力



私たちのかくだ
共に守ろう!
共に変えよう!



後援会の皆様へ

新たなステージへ

私、黒須貫は、5年前に初めて角田市議会議員に立候補しました。地方が無くなる(増田レポート)と言われる中、「角田市を決して消滅させない」という強い思いでありました。結果、地域の皆さまを始め多くのご支持をいただき、当選させていただきました。

手さぐりの中、同期4人で「志政クラブ」を結成し、定例議会では毎回一般質問をおこなってきました。5人の子供の親として、子育ての経験を生かした「教育への提言」、神主として地域に根差してきた経験からの「地域振興への提言」、みやぎ県南中核病院企業団議員の知見からの「地域医療への提言」、現役消防団員の経験と視点からの「防災への提言」など、経験に基づき、自分だからこぞできる政策提言と、実現への努力をしてきました。

2期目の信託をいただいた直後の昨年10月12日、台風第19号の襲来により、角田市は甚大な水害に見舞われました。災害対応に奔走する中で痛感したのは、市民の安全が市政の絶対条件だということ。そして、人と人、市民と行政、市・県・国のしっかりとしたつながりが、市政にとって大きな力になる、ということでした。

災害復興を最重要課題として、市政を注視し、角田市の未来をさらにしっかりと提案していこうと、決意を新たにいたしました。

気候変動により常態化する自然災害、新型コロナ禍、人口減少など、山積する課題を乗り越え、角田市が未来へ向けて発展していくために、“共に守ろう!”“共に変えよう!”

黒須貫は「角田市の新たなステージ」へ
挑戦することを決意いたしました。

令和2年5月吉日 黒須貫



市民が主役!

「こんな角田市ならイイネ!」を みなさんと共に実現していきます。



国・県・市の連携を さらに太く!強く!

- 国・県との強力な連携で、災害への迅速な対応と、角田市の財政健全化を図ります。
- 自治センターを地域の拠点として、必要な権限・財源を移していきます。
- 市職員の専門性を活かし、市民とともに考える環境づくりに取りくみます。
- 家庭・学校・地域が協働する「コミュニティスクール」(※2)制度を導入します。
- お互いが思いやり、助け合うやさしい連帯社会の実現を目指します。

(※2)コミュニティスクール:地域住民が学校運営に参画し、協働して子どもを育む仕組みを有する形態

いのちを守り、豊かに育む

- 自然災害から市民の命を守る万全の防災対策、事前避難行動計画の導入を進めます。
- 台風第19号からの完全復旧・復興(河川管理・排水機場等の整備、他)を急ぎます。
- 命が誕生し、安心して生き、老いていける地域包括ケア社会(※1)を充実させます。
- 医療機関(市内・市外)への移動など、暮らしに必要な交通手段を確保します。
- 新型コロナウイルス等の感染症から市民の命を守り、暮らしを支えます。

(※1)地域包括ケアシステム:病院・福祉施設・行政・地域が連携し、住民の健康を守るシステム

子どもたちと共に、生きる力を培う

- 角田市の歴史・伝統・文化を学び、誇りに思う「ふるさと学習」を行います。
- 保育料、子ども医療費、学校給食の完全無償化を目指します。
- 雨天時の遊び場など、子育て世代が安心して、生き生き暮らせる環境を整えます。
- 「地方→都会」の流れを変え、地元で活躍する人材を育成します。
- 「角田市の教育ビジョン」を示し、新たな学習方法を取り入れ、学力の向上を目指します。

地域産業の復興! 農・林・商・工業を全力で支援

- 地元産業・製品のグローバル化、ブランド化で産業振興と豊かな財政づくりに努めます。
- 地元産業と先進技術のマッチングにより、新たな地場産業を生み出します。
- 角田の豊かな自然環境下で、テレワークなどを活用した新たなビジネスを創出し、Iターン、Uターンを促進します。
- 将来起こりうる大規模災害に備え、地場産品の備蓄等、角田市が貢献できるシステムを構築します。

黒須とおる『幸せへの4つ葉のクローバー』提言

Happy four-leaved clover

